

病院の実力「変形性膝関節症」
医療機関別2024年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	主な手術 (件)	人工膝関節 置換術 (件)	骨切り術 (件)	常勤の専門医 (人)◆
茨城				
いちはら	378	325	53	11
嶋崎	261	241	20	6
土浦協同	94	91	3	5
村立東海	93	93	0	1
筑波大	74	73	1	11
筑波学園	61	43	18	6
県立中央	55	55	0	3
つくばセントラル	27	25	2	5
水戸赤十字	11	11	0	3
牛久愛和総合	8	7	1	2
千葉				
船橋整形外科	649	623	26	29
亀田総合	209	77	132	16
成田赤十字	205	198	7	7
千葉労災	186	143	43	8
東邦大佐倉	149	132	17	11
松戸市立総合医療セ	127	127	0	7
順天堂大浦安	123	118	5	12
君津中央	117	117	0	5
慈恵医大柏	105	98	7	7
国際医療福祉大成田	86	86	0	10
東千葉メディカルセ	83	80	3	7
千葉大	65	63	2	8
キッコーマン総合	53	51	2	6
千葉西総合	52	52	0	2
香取おみがわ医療セ	51	51	0	2
国保旭中央	51	49	2	4
日本医大千葉北総	50	43	7	9
おおたかの森	30	30	0	1
国立国府台医療セ	28	28	0	4
千葉中央メディカルセ	27	24	3	5
船橋市立医療セ	25	25	0	6
国際医療福祉大市川	14	14	0	4
栃木				
新上三川	446	421	25	5
宇都宮記念	135	131	4	3
済生会宇都宮	56	56	0	6
独協医大	48	40	8	14
那須赤十字	43	27	16	5
自治医大	24	22	2	18
国際医療福祉大塩谷	15	15	0	1
国際医療福祉大	6	6	0	2
県立がんセ	0	0	0	3

「セ」はセンター
◆2025年10月現在

全国の調査結果は18日の「からだ」面に掲載しました。

病院の実力

～茨城編 212

変形性膝関節症

体重管理、運動悪化防ぐ

今回の病院の実力は変形性膝関節症を取り上げる。一覧表には手術の実績などを載せた。

変形性膝関節症は、太ももの骨とすねの骨の間にある膝関節の半月板や軟骨がすり減ったり、その影響で二つの骨が変形したりして炎症が起き、痛みが出る病気だ。国内の推計患者数は2500万人で、60～80歳代が中心。肥満の人や女性が発症しやすい。

脚が外側に湾曲するO脚や、内側に湾曲するX脚の人でも軟骨がすり減りやすいので注意が必要だ。治療は、痛みの軽減や症状の悪化を防ぐための保存療法が基本。体重の管理や太ももの前面の筋肉を鍛える運動をはじめ、膝のサポーターや

靴の中敷きなどで関節への負担を減らしたり、薬で痛みを和らげたりする。これらを行っても膝関節の変形が進み、痛みが強く動かしにくくなった場合には手術が検討される。

膝関節を温存できる骨切り術は膝にかかる体重のバランスを矯正する。骨に切り込みを入れ、隙間にセラミックなどできた人工骨を埋め込み金具で固定する。人工骨が自

分の骨に置き換わり回復するまでに数か月かかるが、手術後は動きの激しい運動も可能だ。

膝関節を人工関節に入れ替える人工膝関節置換術の入院期間は通常2週間ほど。一部のみを置き換える単顆置換術は、全てを置き換える全置換術よりも患者の体への負担は少ないが、高度な技術が求められる。手術できる医師は限られる。